

2016年 市民交流訪中団 厦門・華安土楼から コロンス島へ Bコース

2016年東京都日中友好協会訪中団は、宇都宮徳一郎会長を総団長に11月3日北京市を訪問した。翌日に、北京市人民対外友好協会で開催された「北京・東京 民間交流写真展」開幕式に参加後、北京飯店における歓迎宴に出席した。

歓迎宴前、宇都宮会長と田雁常務副会長の間で、「2017年東京―北京 両協会交流事業」に関する7項目にわたる覚書が調印・交換された。2017年は日中国交正常化45周年を迎えることから、すべての交流事業を「45周年記念事業」とし、両都市市民・日中の「草の根交流」を幅広く進めることにより、友好交流をさらに発展させることとした。

11月5日午前、須藤誠理事長を団長にBコースメンバー8名(北京市対友協の李維建科長を含む)は北京空港から厦門へ出発することとした。3時間10分のフライトである。厦門では2泊の予定で、世界遺産「華安土楼」や「コロンス島」を見学する予定である。



初日はA・B・C三コース全員が天壇公園で記念撮影

厦門は上海よりさらに南に位置し、海をはさんで台湾の対面にあり初冬でも温暖で過ごしやすいためである。実は、訪中前またまた厦門市観光局長一行が都日中を訪問され様々なお話を伺っていた。

北京空港に到着後、フライトインフォーメーションには、スモッグのため多くの便のキャンセルが表示されており、厦門便もキャンセルであった。対友協の李科長と次便等のチェックをするも本日のフライトは無理と判断し、改善の策で新幹線を利用することとした。北京南駅まで地下鉄を利用し、上海までの1等のチケットを購入した。乗車時間は5時間である。スモッグのおかげで思わぬ体験ができた。快適で素晴らしい新幹線の旅であった。

当日は厦門まで行くのは無理なので、上海空港ホテルで1泊し、翌日の午前便で、2時間かけて厦門に飛んだ。

空港到着後、バスで予定されていた世界遺産「華安土楼」見学に向かった。

土楼は「真田丸」ではないが、敵から家族村を守るための土と石で作った円形の城であり円形内部には中央に各家族共有の広場があり、コミュニティの場となっている。

翌日午後は帰国日である。午前中に予定されていた「コロンス島」見学に行った。アヘン戦争後の各国(13ヶ国)の租界となっており、きれいに整備されている島には多くの観光客でにぎわっていた。当時の日本領事館あとも見学した。温暖気候でもあり草木が生い茂り美しい島であった。

様々な旅程変更にあたり、李維建科長には大変ご苦労をおかけしました。的確な判断に感謝いたします。そしてB班のすべてのメンバーにもご協力いただき感謝いたします。ありがとうございました。

北朝鮮国境の街 丹東から大連港へ Cコース

11月5日、北京の日程を終え、瀋陽・丹東・旅順・大連へ旅立つことになった。当日、空港に向かう高速道路は、スモッグがひどく使用不能の情報が出ていたが、なんとか空港に到着した。空港は大混乱、出発時間は不明。やむなくその場で待機。参加者は8人、対友協の盧さんが案内役。

朝の9時40分発の飛行機が出発したのは、午後3時過ぎ、瀋陽には夕刻到着。予定の市内見学は中止して、ホテル直行。

翌6日午前の高速列車で丹東へ。初めての街、高層ビルが林立し、近代都市の様相にびっくり。北朝鮮との国境の街だとは知っていたが、このように大きな街とは想像していなかった。北朝鮮とは鴨緑江を橋で繋がれている。橋は二本あり、一本は朝鮮戦争の時にアメリカ



軍によって破壊され、断橋として残され、途中まで行くことができた。あと一本は正常に利用されているが、人影も車も列車も見られなかった。

丹東には、万里の長城の東端、虎山長城がある。東端は山海關だと思っていたのでびっくり。長城の反対側はリング畑になっており、その先に数メートル巾の小川がある。川の間には北朝鮮だといふ「一歩跨」の看板があり、国境に違いが感じられる。小川の中国側は、鉄製の柵があり、警備兵が

定されていた世界遺産となっており、きれいに整備されている島には多くの観光客でにぎわっていた。当時の日本領事館あとも見学した。温暖気候でもあり草木が生い茂り美しい島であった。

様々な旅程変更にあたり、李維建科長には大変ご苦労をおかけしました。的確な判断に感謝いたします。そしてB班のすべてのメンバーにもご協力いただき感謝いたします。ありがとうございました。

初めての中国訪問の旅 渡辺 俊一 〈ミフアーゲン製菓〉

Aコース

私は今回の都日中訪中団での訪問が、初めての中国訪問であると同時に初めての海外訪問となりましたが、今回の体験で感じた事は「相手に思いを伝える」という事です。普段の生活で会話に不自由するという経験がこれまであまりありませんでしたが、中国では日本語はもちろん、英語が通じない事もあり相手とのコミュニケーションには不自由し正直壁に感じました。ですが、だからこそ普段以上に「相手に自分の思いを伝えたい、伝わって欲しい」という思いは強くなりました。身

手をとられ、舞台上一緒に踊らされた。

丹東と北朝鮮との間には、海に近いところにも二本橋が架けられていた。工業団地の専用の橋とか、国際的な制裁の環か、工事が中止されていた。

7日、丹東から旅順へ約350キロ(バスで約5時間)、日露戦争のときの会談場所「水師營」を見学。最大の激戦地「二〇三高地」に登る。山全体にトーチカが作られており、壁にはさまざまの銃弾の跡が残されていた。山頂からは旅順港の



全貌が見渡され、子供の頃教科書で教えられた旅順港の入口が狭くなっている。そこに日本の軍艦を沈めてロシアの艦隊を封じ込めたという場所を眼にすることができた。

8日、大連の中山広場、大和ホテル、大連港を見学。敗戦時東北にいた日本人数万人が、集結、帰国した港である。

三宅団長の「これまで何回か中国に来たが、今回のたびが一番良かった」の言葉が印象的でした。(三好敏)

見に行く会に行く中国の旅 北京から瀋陽、大連へ

14回となる「見に行く会に行く」は、北京から瀋陽、大連へ。北京での懇親交流会では、北京市婦女連合会、人民対外友好協会、羽仁もと子・吉一夫妻設立の自由学園北京生活学校卒業生とその関係者らが集まり、テーマは家庭での手仕事で



鶏冠山堡壘などを訪ねました。それらは一体何だったのか。そこでは数多くの清国軍、ロシア軍、日本軍の将兵が斃れ、多くの中国人民も犠牲となりました。民族を越えて神の子たる人間が愛し合うべく精神を思うとき、涙の溢れるのを禁じ得ないのです。

安重根処刑の旧旅順刑務所へとも思いながら、深く心に染みる旅でした。(三宅進)

窓からは日露戦争最大の奉天陸戦戦跡の遼陽、首山堡などへ思いを馳せました。大連は大連港、大連機場の海と空から世界のへ広がる美しい近代都市です。

かつて我が国の国威に目を覚ます旧関東軍本部や大和ホテルなど、また旧日本人街、ロシア風情の街並みが今も残っています。そして旅順へ。日清瀋陽故宮ではかつて中国東北を支配した清王朝の歴史を見聞。その直後で然の猛烈な雷雨に見舞われ、冠水した道路は中学校の下课時と重なって大渋滞となるハブニング。明くる朝、初秋の大平野をJR新幹線に似る高速列車にて大連へ。車

**中国帰国者
新春餃子パーティー**

帰国者の方々と一緒に、ちよっと早い「春節」をお祝いしましょう!

★日時 2017年1月22日(日) 午後1時から3時30分

★会場 豊島区生活産業プラザ

★参加費 2000円

★主催 東京都日中友好協会

※歌と踊りとビンゴもありますよ!

ご家族の安心のそなえはできていますか

生花・介護用品・患者移送から お葬儀のことまで

ISO9001 認証
— テレモア 共済 —

東京都日中友好協会ライフクラブ

— 特にお葬儀(※)の50%割引が経済的です。 —

※割引特典は事前のご入会により適用となります

資料 事前 0120-60-1121 「もしもノート」「家族葬」「ファミリーライフクラブ」「仏事の
請求 相談 ころえ・マナー」など資料をお送りさせていただきます。

株式会社 **テレモア**

〒100-0001 東京都千代田区千代田 4-19-7 ☎03(5379)0111 (大塚)
〒100-0001 東京都千代田区千代田 3-12 紀尾井町ビル6階
担当: 海老澤 孝光